小児内科 ■ 次号予告

第56巻 第11号（11月号）

特集　いまさら聞けない成長のキホン

総論

小児における成長の基本………………田中敏章

器官別の成長・発育―Scammonの発育発達曲線を含めて………………松田花穂

栄養と成長…………………………………川井正信

骨の成長・成熟と骨年齢………………安藏　慎

成長をミエル化する「成長曲線」のキホン…………………………………伊藤善也

胎児発育評価の基本的考え方…………篠塚憲男

一次施設（クリニック）における成長評価……………………………………村下眞理

専門施設における成長障害の鑑別診断…………………………………………伊藤純子

各論

鑑別すべき疾患

成長障害をきたす内分泌疾患………永原敬子

成長障害をきたす遺伝子異常………緒方　勤

骨系統疾患―軟骨無形成症・軟骨低形成症，低ホスファターゼ症，骨形成不全症について………………………………窪田拓生

成長障害をきたす代謝性骨疾患：くる病…………………………………長谷川高誠

過成長をきたす疾患―思春期早発症，成長ホルモン産生腫瘍，Klinefelter症候群，Marfan症候群など………………髙橋郁子

肥満をきたす疾患（原発性肥満と二次性肥満）………山本幸代

成長をめぐる諸問題

成長ホルモン治療の進歩と問題点…松井克之

低出生体重児の増加と成人身長の低下―DOHaDの観点から……………中野有也

早期adiposity reboundに着目した小児肥満予防―早期adiposity reboundと将来の心血管疾患発症のリスク…………小山さとみ

家庭環境・ストレスと成長障害……菅原大輔

慢性腎臓病と成長障害………………石塚喜世伸

重症心身障害児の成長評価…………永江彰子

コラム

睡眠不足や筋力トレーニングは成長障害の原因となるのか？……………………中村千鶴子

骨系統疾患の早期診断のための体格指数の開発…………………………森岡一朗

低出生体重児の発育曲線（「医療機関退院後の低出生体重児の身体発育曲線（2022年）」）について作成の経緯とコンセプト……盛一享徳

「小児内科」特集案内

				定価
第55巻	第10号	（2023年10月）	小児科医ができるアドボカシー活動～こどものこえを社会のこえにするために小児科医ができること～	（3,190円）
	第11号	（2023年11月）	知っておきたい周産期・新生児医療 up to date	（3,190円）
	増刊号	（2023年11月）	エキスパートが教える小児の薬物治療	（11,000円）
	第12号	（2023年12月）	小児科医が知っておくべき筋疾患診療：遺伝学的理解と治療の最新事情	（3,190円）
第56巻	第１号	（2024年１月）	小児科医のキャリア・デザイン～「こども臨床」の魅力を語る	（3,190円）
	第２号	（2024年２月）	小児内分泌を楽しく学ぼう	（3,190円）
	第３号	（2024年３月）	これからの学校医～いろいろな子ども集団との連携	（3,190円）
	第４号	（2024年４月）	完全把握をめざす小児の心疾患（増大号）	（6,600円）
	第５号	（2024年５月）	小児の事故と予防	（3,190円）
	第６号	（2024年６月）	小児の渡航医学	（3,190円）
	第７号	（2024年７月）	酸塩基平衡異常―基本と管理	（3,190円）
	第８号	（2024年８月）	小児科医が知っておくべき子どもの眠り	（3,190円）
	第９号	（2024年９月）	思春期医療に向き合う～苦手意識からの脱却	（3,190円）

上記のご注文ならびに在庫照会は下記までご連絡下さい。価格は消費税10％を含みます。

東京医学社（販売部）　〒101-0051　東京都千代田区神田神保町2-40-5

TEL 03-3265-3551（代）　FAX 03-3265-2750　E-mail：hanbai@tokyo-igakusha.co.jp